



至誠会
廣部 真造 議員

問 今後の人事評価制度や人材育成の取り組みについて市長の見解を伺う。



新たな人事評価制度の導入について

問

360度評価制度を採用することについて市長の見解を伺う

答

公平で客観的な評価となるよう研究を重ねてまいります

答 市長

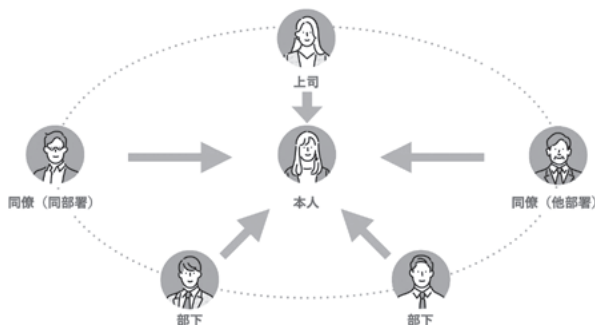
人材育成なくして組織力の最大化はないものと考えており、市民の皆さまにしつかりと寄り添いながらあらゆることにチャレンジし、最大限の力を発揮できる職員を育てていけるよう努めてまいります。また、本年5月に処分決定をしたハラスメント事案については、市民の皆様の安心安全を守る職場において、ハラスメント行為が横行し、組織の管理監督を行うべき者が問題に対処する責務を果たさなかつたことについては誠に遺憾

であり、改めてお詫び申し上げます。

今回の発生要因の一つ目にはハラスメントに関する認識の低さがあり、「指導」と「パワハラ」の切り分けが不明瞭であったこと、二つ目には人命救助に携わる消防職は、指揮官の命令には絶対服従という特殊な職種であり、職位や年齢を超えて自由に意見が言えない風土であったことが主たる要因と捉えています。改めて、部長長には部局の管理監督職として仕事をマネージメントすることの重要性と、

360度評価（多面評価）とは？

異なる立場かつ複数人から意見を集め、公平かつ客観的、多角的な人事評価を実現



引用：株式会社 smartHR ホームページ

自ら先頭に立ち、職員としてあるべき姿勢を見せることにより、職員との信頼関係を築くことが最も重要であると伝えるとともに、部局長による職員面談では、所属の人間関係や職場環境の不満、さらには改善点の聞き取りを必須とし、ハラスメントの未然防止に加え、適材適所の人事配置や職員個々のキャリア形成にも活用をしていきたいと考えています。